

日本放射線腫瘍学会 日本がん看護学会 共催
がん放射線治療 看護セミナー
第3回テーマ：放射線口腔・咽頭粘膜炎

開催日程 : 2006年10月 14日(土)
開催場所 : TFTホール 東京都江東区有明3丁目1番
新交通「ゆりかもめ」国際展示場正門駅と直結
りんかい線国際展示場から徒歩5分
募集方法 : 日本放射線腫瘍学会ホームページから受け付け、応募が募集人員に達した時点で締め切る。
日本放射線腫瘍学会ホームページアドレス：<http://www.jastro.jp/>
募集人数 : 350名
参加費 : 5,000円

はじめに

がん医療の中で放射線治療は根治から症状緩和まで多くの患者にとって重要な役割を担っている。放射線治療を受ける患者が増加する中で、「放射線」に対する根強い誤解や知識不足による不安を抱いている患者も多い。このような不安を和らげるために、看護師が事前にわかりやすい言葉で生活に即した指導を行うことは有用である。これは患者のセルフケアを促進することにもつながる。また、放射線治療を受ける多くの患者は他のがん治療と同様に種々の有害事象を経験する。しかし、有害事象の多くは適切なアセスメントと効果的なケアの提供で症状を予防、もしくは低減させることが可能となる。一方、放射線治療には放射線治療医や診療放射線技師など多くの医療者が関わることも特徴のひとつである。医療者間の患者を者中心としたコミュニケーションを図るために、看護師の果たす役割は大きい。

これらのことを看護師が実行するためには知識が必要であるが、その知識は専門的で広範囲に及び、臨床では習得する機会が少ない現状である。そこで、患者が安心して適切な放射線治療を受けられるように、看護師への放射線治療の知識の普及を目的として本セミナーを開催している。

第3回セミナー開催にあたって

第1回はほとんどの患者が経験する「皮膚炎」をテーマとし、希望者多数のため同じ内容で第2回を開催して、どちらも参加者から高い評価を頂いた。今回のテーマはこれまでの参加者アンケートで要望の高かった「口腔・咽頭粘膜炎」である。

「口腔・咽頭粘膜炎」は口腔・咽頭を照射野に含む治療を受けた患者のほとんどが経験する。患者にとっては苦痛の強い現象であり、経口摂取や症状緩和のためのケアなど看護師への期待は大きい。本セミナーでは、放射線治療を受ける患者への適切なアセスメントならびに効果的な看護実践のために必要な知識と情報を提供する。

セミナーの目的

がん放射線治療に関する看護の質向上を図るために、適切なアセスメントならびに効果的な看護実践に必要な知識を提供する。

第3回セミナーの到達目標

- 1) 放射線治療の特徴、治療状況、作用・有害事象出現のメカニズムを含む基礎知識が理解する。
- 2) 放射線治療の基礎知識を取得することにより治療患者に起きている口腔・咽頭粘膜炎の適切なアセスメントならびに効果的な看護実践を結び付けて考えることが出来る。

セミナーの構成

- 1) 放射線治療に関する基礎知識、効果と有害事象のメカニズムについての概説を行い、最後のセッションは参加者に提示してもらった症例を講師や他の参加者を含めてディスカッションを行う。
- 2) 「放射線口腔・咽頭粘膜炎」に関する対応に苦慮した症例についてのアンケート用紙を当日会場にて配布し、記入後に回収する。

カリキュラム

時間	内容	講師	備考
～9:30	Information		
9:30～9:35	開会の辞	土器屋 卓志 埼玉医科大学放射線腫瘍科教授	5分
9:35～10:55	1. すぐに役立つ放射線治療の原理	(司会) 小西 恵美子 大分県立看護科学大学教授	
	1) 分子～組織レベルでの理解 放射線治療ががんに効く理由、放射線治療の有害事象について、口腔・咽頭粘膜 炎に注目して説明する。	伊東 久夫 千葉大学放射線科教授	40分
	2) 人体レベルでの理解 放射線粘膜炎出現のメカニズムを悪化の要因やケアのための基礎知識を概説し、 粘膜炎の症状・治療影響などについて Evidence に基づいて説明する。	岸 和史 和歌山県立医科大学 放射線医学教室助教授	40分
10:55～11:05	休憩		10分
11:05～11:45	2. 頭頸部の放射線治療	(司会) 北原 規 昭和大学藤が丘病院 放射線科助教授	
	放射線治療と照射方法について、頭頸部領域の照射にポイントを置いて概説する。	萬 篤憲 (独)東京医療センター 放射線科医長	40分
11:50～12:35	ランチョンセミナー 放射線照射装置(リニアック)の仕組みと今後の発展(仮題)	バリアン社	
12:50～14:05	3. 口腔ケアチームで関わる口腔・咽頭粘膜炎	(司会) 角 美奈子 国立がんセンター中央病院 放射線治療部医長	
	1) 歯科・口腔外科医師 口腔・咽頭に放射線治療を受ける患者の口腔ケアの基本について概説する。	大田 洋二郎 静岡県立静岡がんセンター 歯科口腔外科部長	40分
	2) 看護師 静岡県がんセンターにおける看護師の役割と具体的な活動について説明する。 放射線治療前の口腔ケア指導と今後の活動をていじする。	中村 由起子 静岡県立静岡がんセンター 看護師	35分
14:05～14:15	休憩		10分
14:15～15:35	4. 栄養サポートチーム(NST)の活動	(司会) 阿部 恵江 がん看護専門看護師 北里大学病院看護師	30分
	NSTの具体的活動内容について国立がんセンター中央病院の例で説明し、 口腔・咽頭粘膜炎患者に必要な栄養について具体的に講義する。	桑原 節子 国立がんセンター中央病院 栄養管理室長	
	5. 看護師の役割 口腔ケアチームを持たない一般病院における予防を含めた患者指導、注意点と 対策などの具体的アプローチと看護計画立案について提示する。	藤本 美生 兵庫県立粒子線医療センター がん看護専門看護師	50分
15:35～15:45	休憩		10分
15:45～16:45	ディスカッション・質疑応答 放射線治療患者への看護の問題とその解決へのアプローチ 参加者から回収した症例を中心に講師とフロアとでディスカッションする。	(司会) 喜多 みどり 都立府中病院 放射線科部長 (司会) 立石 久留美 (独)東京医療センター 看護師長	60分
	閉会の辞	濱口 恵子 癌研有明病院副看護部長 がん看護学会 理事	